

議会から質問

- ボランティアとして災害派遣に携わってきた中で、災害のあった岡山では、受付係として女性の消防団員の方が活躍されていた。加西市でもそういったことができるのではないかと。

回答・意見

- 北播磨の中では検討されている。また、全国では女性の操法大会があるので、かなりの規模であると思われる。小野市と三木市に女性消防団員が

おり、主に広報活動に活躍されている。加西市でも集めたいとは思っているが、まだまだ難しいと思っている。日本消防では推進している。今のところは、女性消防団よりも機能別消防団をつくるほうを考えている。



その他の要望

- 小野市境に水利がないので消火栓を引いていただきたい。そのほか消火栓ボックスがないところもあるのもう一度見直していただき、新たに設置していただきたい。

## 兵庫県介護支援専門員協会 加西支部

※ 介護支援専門員とは、ケアマネージャーのことです。

議会から質問

- 介護保険法の改正で課題はありますか。

回答・意見

- 訪問介護で生活援助の部分が介護保険から切り離されていっている。そのために事業所が少なくなり、ヘルパーも高齢化している。
- 3年毎の見直しで介護保険料が高くなり、自立とは何かと問いかげられる場面が多い。制度変更もあり、市民に向けたわかりやすい説明が難しい。高齢者に自立をどう伝え、どう支援のチームが共有するか悩む。
- 小規模多機能型居宅介護施設だが、地域密着型で地域に合わせて柔軟なサービスが提供できる。一定額でいろんなサービスが何回でも利用できるが、他の施設のサービスは受けられない。宿泊代、食事代は実費負担なので利用料が高くなる。
- 介護保険制度がどれだけ市民に理解されているか疑問。他市での監査で「ベットをレンタルしているのでこれは自立ではない」と言われた。ベットがあるので立ち上がりが楽にでき、一人でトイレに行ける。これが能力に応じた自立だと思いが自立の意味が難しい。
- 地区により交通の便、買い物の場所、病院の差が大きい。病院内の移動は、介護保険のヘルパーは利用できない。巡回バスの乗り降り、買い物、移動に何とかならないかの声がふえてきた。加西市独自の助け合い、支援があればいいと思う。



- 家族との同居の有無で援助の内容が変わってくる。特養は要介護3以上なので重度化して業務量が多く負担が大きい。介護職員の人材が不足する中、医療的な問題もふえてくる。施設に入っている期間が短くなっている。
- 同居家族がある場合、生活支援に制限が多くあり、引きこもりの子供から援助を受けられない中で生活をどう守っていくかというような課題がある。改正で生活支援の回数が見直されたが、変更となると家族、本人の理解が得られない。病院に受診にも行けず薬が切れたままの人が多数いる。配食サービスの利用も多く、待ちの状況になる。
- 包括支援センターでは一生懸命に相談にのっていただけると、民生委員の力強さ、ネットワークの強さは他市に負けない温かさがあるので、活躍を期待する。



議会から質問

- 生活支援サポーターは、ボランティア的なものか。

回答・意見

- 社会福祉協議会の地域福祉課に事務局がある。皆さんの持っておられる力を地域の中で発揮してもらいたくて、話し相手とか買い物ならできるとい方を募りながら、利用者と支援者のマッチングを行っている。30分250円。介護保険を使うまでもないが少し手伝ってほしい場面での制度を使っている。

